

平成 30 年度

事 業 報 告 書

公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

# 事業報告書

平成 30 年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

## 1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び関係団体と連携し次の事業を行った。

### (1) 北方領土返還要求署名運動の推進

#### ア 署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び関係団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

##### ① 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催日等：6月29日(金) 札幌市 出席者：10名  
参加団体：北海道青少年育成協会、北海道町内会連合会ほか 8団体

##### ② 北方領土返還要求署名活動の実施

平成 30 年度署名者数	平成 30 年度末累積署名者数	摘 要
918,930	90,841,916	平成 30 年度関係機関・団体別署名収集数は巻末資料 1 参照

#### イ 国会請願及び政府・国会要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し請願及び要請を行った。

##### ① 国会請願

北方領土の早期返還の実現を期し、衆・参両議院に 300 万人分の署名を添えて請願を行った。

実施日	請 願 先	場 所	摘 要
11月26日(月)	衆議院議長 大島 理森 出席議員 衆議院外務委員会 委員長 若宮 健嗣 ほか 衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長 末松 義規 ほか	衆議院 第一議員会館	〈紹介議員〉 西銘 恒三郎 篠原 豪 山岡 達丸 佐藤 英道 安住 淳 赤嶺 政賢 丸山 穂高
11月26日(月)	参議院議長 伊達 忠一 出席議員 衆議院外交防衛委員会 委員長 渡邊 美樹 ほか 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員長 石橋 通宏 ほか	参議院 議員会館	〈紹介議員〉 長谷川 岳 高瀬 弘美 江崎 孝 浜口 誠 紙 智子 儀間 光男 糸数 慶子

## ② 政府要請

北方領土返還促進に関する要請を行った。

実施日	要 請 先	場 所	摘 要
12月18日(火)	内閣総理大臣 安倍 晋三 内閣府北方対策担当大臣 宮腰 光寛 外務大臣政務官 山田 賢司 内閣府審議官 幸田 徳之	総理大臣 官邸	〈要請者〉 北海道知事 都道府県民会議全国会議会長 北連協議長 理事長 外

## (2) 北方領土問題早期解決の要請

北方領土の早期一括返還、元居住者の権益保護、後継者の育成強化などについて政府及び国会議員等に要請を行った。

実施日等	主 な 要 請 事 項	要 請 先	要 請 者
4月5日(木) 東 京 都	○北対協融資制度の充実 ○自由訪問事業及び北方墓参の円滑な実施 ○元居住者の財産権の保護等	自民党北方調査会北方領土隣接地域の振興に関するPT	理事長、専務理事
5月7日(月) 羅 白 町	○北対協融資制度の充実 ○北方領土隣接地域の振興に向けた財源対策	自民党北方調査会北方領土隣接地域の振興に関するPT	理事長、専務理事、根室管内4町支部長及び青年部代表等
5月8日(火) 根 室 市	○北対協融資制度の充実 ○北方領土隣接地域の振興に向けた財源対策	自民党北方調査会北方領土隣接地域の振興に関するPT	副理事長(河)、専務理事、根室支部長及び青年部長等
5月16日(水) 東 京 都	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の活動への支援	安倍内閣総理大臣	北海道知事 根室市長 理事長、専務理事
6月12日(火) 東 京 都	○北特法及び旧漁業権者法の改正	横光衆議院沖北委員長 山岡衆議院議員 近藤衆議院議員 下地衆議院議員 赤嶺衆議院議員 笠井衆議院議員 江渡衆議院議員 石橋参議院沖北委員長 紙参議院議員 浜口参議院議員 長谷川参議院議員	理事長、専務理事 (北海道、北隣協と合同)

実施日等	主な要請事項	要請先	要請者
7月19日(木) 東京都	○北特法及び旧漁業権者法の改正	伊東衆議院議員 宮腰衆議院議員 横光衆議院議員 稲津衆議院議員 長谷川参議院議員 鉢呂参議院議員 石橋参議院議員	北海道副知事 理事長、専務理事
8月1日(水) 羅臼町	○北対協融資制度の充実	福井内閣府北方対策担当大臣 松林内閣府北方対策本部審議官	理事長、羅臼支部長 及び青年部長等
8月28日(火) 羅臼町	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の活動への支援	北海道議会北方領土対策特別委員会	理事長、専務理事、 根室管内4町支部長 及び青年部長等
8月29日(水) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の活動への支援	北海道議会北方領土対策特別委員会	副理事長(河)、専務理事、 根室支部長 及び青年部長
9月6日(木) 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施	宮本外務省欧州局ロシア課長 松林内閣府北方対策本部審議官	北海道副知事 副理事長(河)
10月16日(火) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施 ○元居住者の権益の保護等 ○後継者の活動への支援	宮腰内閣府北方対策担当大臣 松林内閣府北方対策本部審議官	理事長、両副理事長、 専務理事、根室管内 支部長及び青年部長等
11月2日(金) 東京都	○北方四島の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施 ○元居住者の財産権の保護等	幸田内閣府審議官 松林内閣府北方対策本部審議官 宇山外務省欧州局参事官	理事長、専務理事 (北海道と合同)
12月18日(火) 東京都	○後継者活動への支援充実	宮腰内閣府北方対策担当大臣	理事長、専務理事 (政府要請後に実施)
2月1日(金) 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施	宮本外務省欧州局ロシア課長	副理事長(河) 根室支部長
2月1日(金) 中標津町	○北方領土の早期一括返還 ○北方墓参・自由訪問事業等の充実と円滑な実施	宮本外務省欧州局ロシア課長	理事長、専務理事、 根室管内4町支部長

### (3) 北方領土問題に関する研修

#### ア 北方領土問題セミナー

北方領土問題を巡る現状や歴史的経緯等に対する理解と認識を深めるため、理事、監事及び一般住民を対象とするセミナーを開催した。

開催日等	内 容
4月25日(水) 札幌市 出席者 46名	〈講演〉 演題：「北方領土問題への道の取組み」 講師：北海道総務部北方領土対策本部共同経済活動担当課長 山田 哲史 氏 〈質疑等〉

#### イ 北方領土問題地域学習会

北方領土問題への理解と認識を深めるため、各地域の元島民等や地域住民を対象に地域学習会を開催した。

主管支部	開催日等	内 容
釧路支部	10月31日(水) 釧路市 出席者 61名	①講演 演題：「法的視点からみた北方領土問題」 講師：釧路市弁護士会会長 荒井 剛 氏 ②語り部 堀江 則男 氏 (国後島二世) ③啓発用楽曲「四島(しま)の記憶」演奏 ヒートボイス
富山支部	11月10日(日) 黒部市 出席者 46名	①講演 演題：「旧漁業権者法の一部改正について」 講師：北方領土問題対策協会上席専門官 近藤 孝弘 氏 ②ビザなし訪問報告発表 黒部市総務企画部主事 畠山 香 氏

#### ウ 指導者養成研修会

北方領土問題について一般国民の理解と協力を得ることを推進するため、各支部の役員等を対象に返還運動のあり方、当連盟の実施事業等について検討協議する研修会を開催した。

開催日等	内 容
5月28日(月) 札幌市 出席者 24名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③北方四島訪問事業等の実施 ④後継者の育成 ⑤組織基盤の強化 ⑥その他

### (4) 北方領土関連資料の収集・保存

戦後70年以上が経過し、元島民の高齢化、減少に伴い、自由訪問及び北方領土墓参事業における目的地への移動等に支障を来していることから、円滑な事業実施に資する資料として「北方四島墓地・元居住地概況調査報告書～歯舞群島・色丹島～」を作成した。

### (5) 地域活動の推進

それぞれの地域で実施している北方領土返還要求運動を支援するため、千島連盟各支部へ活動交付金を交付し、また、青年部を設置している支部には、後継者による返還要求運動を推進するための活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

## (6) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び関係団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行 事 名 等	行 事 名 等
8月5日 北方領土返還要求根室市民大会（根室市）	1月19日 第33回“北方領土を考える”高校生弁論大会（札幌市）
8月11日 北方領土返還要求中標津住民大会（中標津町）	2月4日 第70回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動 ～11日（札幌市）
8月24日 2018北方領土返還要求北海道・東北国民大会（札幌市）	2月7日 平成31年「北方領土の日」祈念大阪府民大会（大阪市）
9月16日 第14回北方領土まで歩こう会（根室市）	2月7日 平成31年北方領土返還要求全国大会（東京都）
8月1日 第37回北方領土返還要求山形県民大会（山形市）	2月7日 2019北方領土フェスティバル（札幌市）
12月1日 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」・ 北方領土展2018 in Tokyo（東京都）	2月7日 2019「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）
12月1日 北方領土返還要求アピール街頭啓発（札幌市）	

## 2 北方領土問題に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

### (1) 啓発活動の推進

#### ア 各種啓発事業の実施

地域住民等に、北方領土問題への理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、千島連盟の各支部を中心とした地域において、啓発資料の作成、「語り部」等による講演会、パネル展示、イベント会場等での署名活動など、各種啓発事業を行った。

#### イ 啓発推進員の配置

地域住民等に、北方領土問題への理解と協力を得るため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津、羅臼及び富山の8支部に「啓発推進員」を配置し、啓発活動や元島民及び後継者の返還要求運動への参加促進を図った。

### (2) 広報紙の発行

返還要求運動や啓発事業などの情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」（243号、244号、245号）を各3,900部発行し、会員及び関係機関・関係団体等のほか、希望する一般住民へ配布した。

### (3) 「北方領土の語り部」事業

#### ア 語り部の育成

元島民後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行うとともに、地域住民を対象に発表会を行った。

対象支部	開催日等	出席者	語り部
オホーツク支部	11月11日(日) 網走市	元島民等 23名 一般参加者 12名	元島民：野口 繁正 氏（国後島） 後継者：北村 浩一 氏（志発島二世）
道央支部	12月1日(土) 札幌市	元島民等 46名 一般参加者 8名	元島民：岩崎 忠明 氏（択捉島） 後継者：金田 慎吾 氏（国後島二世） 後継者：倉賀野 弘行 氏（多楽島二世）

## イ 語り部事業の実施

元島民が北方領土への望郷の思いや四島での貴重な体験などを語り伝え、北方領土問題や北方領土返還要求運動に対する国民意識の高揚を図るため、関係機関及び関係団体と連携し、「語り部」事業を道内外で実施した。

区分	開催日等	共催	出席者	語り部
道内	11月12日(月) えりも町	北海道	町立笛舞小学校 5・6年生：12名	安田 愛子 氏 (択捉島)
	11月15日(木) 小樽市		市立潮見台小学校 5年生：47名	松本 侑三 氏 (択捉島)
道外	7月5日(木) 岡山県倉敷市	全国地域婦人団体連絡協議会 岡山県婦人協議会 倉敷市児島地区婦人協議会	参加者：90名	山本 忠平 氏 (択捉島)
	7月13日(金) 宮城県名取市	全国地域婦人団体連絡協議会 宮城県地域女性団体連絡協議会 名取市地域女性団体連絡協議会	参加者：80名	山本 昭平 氏 (択捉島)
	9月19日(水) 熊本県熊本市	全国地域婦人団体連絡協議会 熊本県地域婦人会連絡協議会	参加者：80名	児玉 泰子 氏 (志発島)
	9月19日(水) 福島県福島市	全国地域婦人団体連絡協議会 福島県婦人団体連合会 福島市婦人団体連絡協議会	参加者：80名	伊藤 光作 氏 (択捉島)
	10月23日(火) 埼玉県さいたま市	全国地域婦人団体連絡協議会 埼玉県地域婦人会連合会	参加者：100名	児玉 泰子 氏 (志発島)

## ウ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として元島民や後継者を関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

〈派遣状況〉

派遣事業名（主催）	派遣数	派遣事業名（主催）	派遣数
県民大会、研修会等（北対協・県民会議）	21名	現地大会、研修会（全国地婦連など）	3名
北方領土青少年等現地視察支援事業（各県民会議）	19名	修学旅行、特別授業	3名
後継者育成ステップアップ事業（北海道）	14名	各種研修等	3名
北方四島交流事業等研修会（道推委・北対協）	12名	各支部等による派遣	119名
セミナー、講演会（北海道）	8名	千島連盟主催事業	12名
元島民の北方領土を語る会（北方同盟）	5名	合 計	219名

### 3 元島民等の援護対策の推進

元島民等の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

#### (1) 北方四島自由訪問事業

##### ア 北方四島への自由訪問の実施

人道的見地及び北方領土問題解決のための環境整備の一環として、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。(使用船舶：えとぴりか)

区分	訪問地	期間	参加者数	備考
第1回	色丹島 能登呂 キリトウシ 相見崎	5.11 ～ 5.14	元島民等 44 子の配偶者等 4 同行者 12 計 60	ヨコネモシリ、ポンデバリ、ノトロに上陸
第2回	択捉島 入里節 十五夜萌	6.6 ～ 6.9	元島民等 27 子の配偶者等 2 同行者 11 計 40	入里節、マタルザルに上陸
第3回	択捉島 トマカラウス グヤ	6.22 ～ 6.25	元島民等 28 子の配偶者等 2 同行者 11 計 41	波、うねりが高く、トマカラウス、グヤ、セイノツに上陸できず
第4回	歯舞群島志登島 カフェノツ	7.13 ～ 7.16	元島民等 38 子の配偶者等 8 同行者 11 計 57	カフェノツ、モトモシリ、ウエンベツ、トッカリイツ、トッカリムイに上陸
第5回	択捉島 シヤスリ 薬取	8.3 ～ 8.6	元島民等 38 子の配偶者等 8 同行者 11 計 57	ポロス、乙今牛、薬取に上陸
第6回	国後島 ポンキナシリ 中ノ古丹	8.13 ～ 8.16	元島民等 23 子の配偶者等 10 同行者 11 計 44	サクマンベツに上陸し、ポンキナシリを散策
第7回	択捉島 ウエンバフコツ 内保	8.31 ～ 9.3	元島民等 25 子の配偶者等 4 同行者 11 計 40	内保、旧内保に上陸
計	4島14箇所		元島民等 223 子の配偶者等 38 同行者 78 計 339	



## イ 島民組織代表者会議

元島民の立場から、北方領土問題の現状等や自由訪問事業等について協議検討し、相互の連携を深め北方領土問題への理解と協力を得るため、代表者会議を開催した。

開催日等	内 容
11月13日(火) 根室市 出席者 17名	①平成30年度北方四島自由訪問・北方墓参等の実施状況 ②平成31年度北方四島自由訪問事業等の実施箇所の検討 ③北方領土関連資料保存整備事業 ④その他

## (2) 北方墓参事業

人道的見地から北海道が実施している北方墓参について、北海道からの委託事業として、団員選考等の業務を行うほか、当連盟事業として訪問墓地での慰霊、法要を行った。(使用船舶：えとぴりか)

区分	墓 参 地	期間	参加者数	備 考
第1班	歯舞群島多楽島 フルベツ ヒラリウス	7.17 ～ 7.19	遺 族 26 同行者 14 計 40	予定どおり実施
第2班	国後島 泊 東沸	8. 8 ～ 8. 9	遺 族 39 同行者 14 計 53	台風の影響で1日短縮(当初8.10まで)。外交当局間で調整つかず、ケラムイ(泊)で慰霊式。東沸は悪天候のため洋上慰霊。
第3班	択捉島 留別 ポンヤリ 年萌 オンネベツ	9.10 ～ 9.13	遺 族 — 同行者 — 計 —	外交当局間の調整がつかず中止
計	2島4箇所		遺 族 65 同行者 28 計 93	

## (3) 特別墓参

「独立行政法人北方領土問題対策協会」が実施する航空機による墓参事業に次のとおり参加した。

期 間	参 加 者 数	訪 問 先
7月22日(日)～23日(月)	70名 (うち元島民等 39名)	国後島：近布内、古釜布 択捉島：紗那

## (4) 北方四島交流事業(ビザなし訪問)

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「独立行政法人北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流事業(訪問)に次のとおり参加した。(使用船舶：えとぴりか)

実施主体	期 間	参加者数		訪 問 先	備 考
			うち 元島民等		
北方四島 交流北海道 推進委員会	6. 1～6. 4	65	12	択 捉 島	予定どおり実施
	7. 20～7. 23	65	13	色 丹 島	〃
	9. 5～9. 8	-	-	国 後 島	台風の接近により中止
	〃	-	-	択 捉 島	〃
	9. 28～9. 30	64	1	国 後 島	台風の接近により 1 日短縮
小計	3 回	194	26		
北方領土 問題対策 協会	7. 27～7. 31	64	6	国後島・択捉島	予定どおり実施
	8. 23～8. 27	62	5	国後島・色丹島	〃
	9. 14～9. 17	62	1	択 捉 島	〃
	10. 6～10. 9	-	-	色 丹 島	台風の接近により中止
小計	3 回	188	12		
合計	6 回	382	38		

※各回に「北方領土の語り部」として元島民 1 名が参加

## (5) 援護問題対策事業

### ア 援護問題等に関する検討

元島民等の財産権の不行使や残置財産、北対協融資制度等について、企画運営委員会で協議・検討を行うとともに、理事等で構成する会議を開催した。

開 催 日 等	協 議 事 項
2 月 25 日 (月) 札 幌 市 出席者 22 名	〈協議事項〉 ・平成 31 年度の要望事項について ・自由訪問・北方墓参四島交流事業等について

### イ 援護対策相談事業

北方領土問題に関連する諸問題の一つである元島民等の戸籍、在島残置財産、北対協融資制度等の援護問題について、相談・助言を行った。

#### ① 戸籍、在島残置財産相続に係る指導、助言

元島民等の戸籍、在島残置財産である土地、建物の相続申出手続き等について指導、助言を行った。

#### ② 北対協融資制度利用に関する相談、助言

元居住者等の援護措置として設けられている北対協融資制度の利用に関し、相談、助言を行った。

#### ③ その他援護問題に関する指導、助言

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
4 月 14 日 (土)	標 津 支 部	4 月 15 日 (日)	函 館 支 部
4 月 14 日 (土)	別 海 町 支 部	4 月 15 日 (日)	オ ホ ー ツ ク 支 部

訪 問 日	訪 問 先	訪 問 日	訪 問 先
4 月 20 日 (金)	中 標 津 支 部	5 月 13 日 (日)	富 山 支 部
4 月 21 日 (土)	羅 臼 支 部	6 月 3 日 (日)	道 北 支 部
4 月 21 日 (土)	道 央 支 部	2 月 7 日 (木)	関 東 支 部
4 月 22 日 (日)	根 室 支 部	3 月 10 日 (日)	厚 岸 支 部
4 月 22 日 (日)	十 勝 支 部	3 月 10 日 (日)	浜 中 支 部
4 月 28 日 (土)	釧 路 支 部		

## 4 後継者の活動

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成、活動促進を図るため、次の事業を行った。

### (1) 後継者活動の推進

#### ア 後継者活動委員会

元島民後継者の活動を促進し、後継者の育成を図るため、後継者事業全般について協議検討を行う委員会を開催した。

開 催 日 等	内 容
5 月 26 日 (土) 札 幌 市 出席者 委員 16 名	①委員長・副委員長の互選について ②北方領土返還要求後継者街頭啓発事業について (平成 29 年度の総括、今後の展開について) ③後継者活動の拡充に関する検討について ④その他

#### イ 後継者街頭啓発

後継者対策の強化及び国民の北方領土問題に対する理解と認識を深め、国民世論の高揚を図ることを目的に、次の事業を行った。

開 催 日 等	イ ベ ン ト 名 ・ 内 容
3 月 2 日 (土) ～3 日 (日) 札 幌 市 後継者等 30 名	「学ぼう!!北方領土」 パネル展示等 (基礎知識、ポスターコンテスト入賞作品、活動報告等)、DVD 放映、輪投げゲーム、ミニライブ、署名コーナー、クイズコーナー、キッズコーナーなど

#### ウ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派 遣 日	派 遣 先	派 遣 者
12 月 1 日 (土)	北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」・ 北方領土展 2018 in Tokyo (東京都)	5 名
2 月 7 日 (木)	平成 31 年北方領土返還要求全国大会 (東京都)	5 名

## (2) 後継者研修事業

### ア 後継者活動促進全国セミナー

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者や若い世代の一般市民を対象に、北方領土問題への理解と認識を深めるためのセミナーを開催するとともに、元島民後継者間の連携強化及び後継者活動の促進を図るため、意見交換を行った。

開催日等	内 容
10月13日(土) ～14日(日) 札幌市 出席者 36名	①講演 演題：「元島民後継者対策事業等について」 講師：内閣府北方対策本部参事官 齊藤 馨 氏 ②後継者活動の事業拡大について ③後継者語り部による講話・グループ討議 議題：「後継者の語り部について～後継者としてどう伝えていくべきか～」 ④意見交換

### イ 後継者研修会

今後の北方領土返還要求運動の担い手となる元島民後継者が、北方領土問題及び北方領土返還要求運動の推進等について協議・検討するとともに、さっぽろ雪まつり会場で署名活動を行った。

開催日等	内 容
2月10日(日) ～11日(月) 札幌市 出席者 43名	①講演 演題：「心に映像があるうちに～こんなにも違う日本人とロシア人～」 講師：ロシア語通訳 佐藤 史郎 氏 ②語り部 山本 忠平 氏 (択捉島) 法月 信幸 氏 (国後島二世) ③訪問事業参加者による報告 木村 智美 氏 (多楽島三世)

### ウ 北方領土問題現地青年の集い

北方領土問題への認識を深めるため、北方領土の隣接地域において、元島民後継者が企画した研修会を開催した。

開催日等	内 容
5月19日(土) 中標津町 出席者 52名	①講演 演題：「北方領土問題の行方」 講師：北海道新聞社根室支局長 相内 亮 氏 ②元島民による語り部 得能 宏 氏 (色丹島) ③パネルディスカッション テーマ：「これからの後継者ビザなし訪問に向けて」

## (3) 後継者キャラバン事業

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長等へのアピール、パネル展及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会において北方領土返還要求運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪問先
8月24日(金)～27日(月) 隊員数 20名	旭川市

#### (4) 北方領土青少年洋上セミナー

若い世代の北方領土問題への理解と意識向上を図るため、一般の青少年を対象に、語り部や洋上視察等を通して北方領土問題について学習する洋上セミナーを元島民後継者が企画し開催した。

開催日等	参加者	内容
7月16日(日) 羅臼町	元島民後継者 26名 北海道内在住の 一般青少年等 117名	①学習会「北方領土のお話」 標津支部 山崎英樹氏 ②高校生による出前講座 ③北方領土クイズ ④洋上視察

## 5 千島会館の運営

北方領土問題に関する啓発・研修及び元島民等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館利活用運営検討会を開催した。

〈千島会館の利用状況〉

- 【利用回数】 178回
- 【利用人数】 延べ 3,135名

## 6 医療支援促進事業の実施

平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島住民支援事業（患者受入事業、医師・看護師等研修事業等）の一環として、外務省からの委託を受けて実施している。

〈事業の概要〉

- ・北方四島の医療事情の把握と新たな医療ニーズ調査
- ・患者受入事業、医師・看護師研修などのフォローアップ調査

〈調査の日程等〉

項目	調査先	期間	調査内容	団員数
北方四島 現地調査	国後島 択捉島	7.27～7.31	患者面談、医療機関等調査	理事長、 外務省医師等 計9名
	色丹島	10.6～10.9	(台風の影響で中止)	武田副理事長、 外務省医師等 計9名
北海道 本島調査	道東	10.24～10.26	釧路労災病院、釧路赤十字病院、市立根室病院、根室市役所、町立中標津病院、中標津町役場での聞き取り調査	外務省医師等 計4名
	札幌市	11.14	北海道立子ども総合医療・療育センター、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院での聞き取り調査	外務省医師等 計4名

## 7 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

### (1) 北方領土返還要求運動推進功労者等の表彰

#### ア 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策担当）による表彰

多年にわたり北方領土返還運動に尽力し、顕著な功績のあった者が表彰された。

##### 【受賞者】

・清水征支郎 氏（浜中支部） ・宮谷内亮一 氏（根室支部） ・武田 勝三 氏（オホーツク支部）

#### イ 千島連盟理事長による表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

##### 【功労者表彰】

・山田 勇 氏（道央支部） ・井田 範行 氏（函館支部） ・畑山 英憲 氏（道北支部）  
・河田 隆志 氏（根室支部） ・佐藤 義雄 氏（根室支部） ・久松 敬一 氏（根室支部）  
・熊倉 重樹 氏（中標津支部） ・川口 真 氏（標津支部） ・伊藤 宏 氏（羅臼支部）  
・塚田 隆 氏（富山支部）

##### 【感謝状】

・三船志代子 氏（道央支部） ・大塚誠之助 氏（道央支部） ・小田島梶子 氏（道央支部）  
・高塚 正勝 氏（道北支部） ・安田 愛子 氏（十勝支部） ・鈴木 咲子 氏（根室支部）  
・河田弘登志 氏（根室支部） ・得能 宏 氏（根室支部） ・中田 勇 氏（根室支部）  
・柏原 榮 氏（根室支部） ・福澤 英雄 氏（標津支部） ・高岡 唯一 氏（羅臼支部）  
・野口 繁正 氏（羅臼支部） ・三上 洋一 氏（関東支部） ・山本 昭平 氏（関東支部）  
・児玉 泰子 氏（関東支部） ・吉田 義久 氏（富山支部） ・山本 忠平 氏（本部）

### (2) 会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元島民及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成 30 年度新規加入者数】 128 名（元島民 15 名、後継者 113 名）

（会員数の状況は巻末資料 2 参照）

### (3) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

#### ア 通常総会

開催日等	議 題
5月27日(日) 札幌市 出席者 117名 委任状及び議決権行使書提出者 1,490名 計 1,607名	①平成29年度事業報告に関する件 ②平成30年度事業計画及び平成30年度収支予算に関する件 ③平成29年度収支決算に関する件

## イ 理事会

開催日等	議 題
第1回 4月26日(水) 札幌市 出席者 22名	①平成30年度通常総会の招集に関する件 ②平成29年度事業報告に関する件 ③平成29年度収支決算に関する件 ④平成30年度通常総会の進行次第(案)について ⑤平成30年度通常総会の提出議案(議案書)について ⑥宣言(案)及び決議(案)について ⑦理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ⑧千島連盟理事長表彰に関する件 ⑨平成30年度監事監査計画に関する件
第2回 12月10日(月) 札幌市 出席者 19名	①領土問題に関する動きと連盟の対応について ②後継者への支援の充実について ③その他
第3回 2月26日(火) 札幌市 出席者 22名	①理事長、副理事長及び専務理事の職務の執行状況の報告に関する件 ②平成31年度事業計画(案)に関する件 ③平成31年度収支予算(案)に関する件

## ウ 監事監査

実施日等	実施監事	監 査 対 象
第1回 4月19日(木) 千島会館	金田 慎吾 本田 幹子	平成29年度千島会館の業務執行及び財産並びに会計の状況
第2回 4月24日(火) 連盟事務局	金田 慎吾 本田 幹子	平成29年度千島連盟(千島会館を除く)の業務執行及び財産並びに会計の状況

## エ 企画運営委員会

開催日等	議 題
第1回 10月3日(水) 札幌市 出席者 10名	①後継者活動の充実について ②旧漁業権者法・北特法の改正について ③自由訪問・北方墓参について ④北方四島医療支援促進事業の実施状況等について ⑤北方四島住民代表受入について ⑥その他
第2回 12月5日(水) 札幌市 出席者 8名	①領土問題に関する動きと連盟の対応の考え方について ②後継者の支援の充実について ③「永久会員」制度の提案について ④次期の役員改選について ⑤その他

開催日等	議 題
第3回 3月19日(火) 札幌市 出席者 8名	①北方四島交流代表者間協議の開催結果について ②平成31年度自由訪問事業について ③平成31年度事業計画書・要望書の一部修正について ④理事長表彰について ⑤連盟運営の課題と今後の方向について

#### (4) 連盟創立60周年事業の実施

本連盟が昭和33年に創立以来、本年で60年の節目を迎えることから、千島連盟の一層の発展を期して、千島連盟創立60周年事業を実施した。

##### ア 記念セミナー

開催日等	内 容
5月27日(日) 札幌市 出席者 139名	テーマ：「どうなる北方領土問題～共同経済活動のゆくえ～」 ①基調報告 講師：北海道新聞社編集委員 本田 良一 氏 ②パネルディスカッション コーディネーター兼パネリスト：本田良一氏 パネリスト：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授 岩下明裕氏 パネリスト：千島連盟副理事長 河田 弘登志 ③質疑応答

##### イ 啓発図書「千島連盟60年のあゆみ～元島民による北方領土返還要求運動～」の刊行

千島連盟創立以来、北方領土返還運動を中心に取り組んできた元島民とその後継者の60年のあゆみを後世に伝承する啓発資料として発刊した。

- 【規 格】 A4版 112頁（オールカラー）
- 【作成部数】 700部
- 【配布先】 関係機関、団体等

## 附属明細書

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないことから作成していない。



<資料1>

平成30年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
公益社団法人全国自衛隊家族会	147,611
愛知県民会議	101,208
山形県民会議	88,050
長野県民会議	82,521
公益社団法人北方領土復帰期成同盟	75,390
北海道総務部北方領土対策本部	71,026
宮城県民会議	64,289
長崎県民会議	54,485
石川県民会議	43,519
公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟	39,809
群馬県民会議	37,284
和歌山県民会議	34,044
上記以外の県民会議	54,484
その他	25,210
合 計	918,930

公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟

<資料2>

平成30年度 会員数

(平成31年3月31日現在)

支部名	元島民数 31.3.31現在	平成30年度 正会員数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	942 ( 53 )	396 ( 8 )	6 ( 1 )	15	172 ( 7 )	203	0	25	421 ( 8 )	
函 館	250 ( 11 )	89 ( 1 )	0 ( 0 )	2	51 ( 1 )	36	0	3	92 ( 1 )	
道 北	194 ( 5 )	81 ( 3 )	2 ( 2 )	5	35 ( 1 )	39	0	1	82 ( 3 )	
オホーツク	277 ( 6 )	148 ( 2 )	0 ( 0 )	4	69 ( 2 )	75	0	9	157 ( 2 )	
十 勝	187 ( 6 )	55 ( 1 )	0 ( 0 )	0 0	34 ( 1 )	21	0	2	57 ( 1 )	
釧 路	755 ( 42 )	179 ( 8 )	1 ( 0 )	10	97 ( 8 )	71	0	4	183 ( 8 )	
厚 岸	53 ( 1 )	58 ( 1 )	0 ( 0 )	1	27 ( 1 )	30	0	1	59 ( 1 )	
浜 中	43 ( 5 )	44 ( 3 )	0 ( 0 )	0	20 ( 3 )	24	0	1	45 ( 3 )	
根 室	1,132 ( 59 )	608 ( 9 )	1 ( 0 )	15	267 ( 9 )	325	4	16	628 ( 9 )	
別海町	109 ( 8 )	176 ( 3 )	0 ( 0 )	5	59 ( 3 )	112	2	3	181 ( 3 )	
中標津	108 ( 7 )	122 ( 2 )	0 ( 0 )	7	46 ( 2 )	69	4	8	134 ( 2 )	
標 津	71 ( 5 )	102 ( 2 )	0 ( 0 )	0	33 ( 2 )	69	0	7	109 ( 2 )	
羅 臼	95 ( 7 )	110 ( 3 )	0 ( 0 )	1	30 ( 3 )	79	2	0	112 ( 3 )	
関 東	703 ( 65 )	375 ( 10 )	1 ( 0 )	19	128 ( 10 )	227	0	0	375 ( 10 )	
富 山	478 ( 5 )	282 ( 1 )	2 ( 0 )	10	116 ( 1 )	154	1	4	287 ( 1 )	
支 部 以 外	道内	298 ( 10 )	90 ( 2 )	1 ( 0 )	7	43 ( 2 )	39	2	4	96 ( 2 )
	道外	545 ( 32 )	216 ( 6 )	1 ( 0 )	12	93 ( 6 )	110	1	7	224 ( 6 )
合 計	6,240 ( 327 )	3,131 ( 65 )	15 ( 3 )	113	1,320 ( 62 )	1,683	16	95	3,242 ( 65 )	

※元島民数及び正会員数の( )は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う  
新元居住者の内数